

# 社会常識でわかる 投資の基本



## 東京会場

JAビル カンファレンスセンター  
4階 401A  
東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
  - ◎地下鉄東西線(東京メトロ) 竹橋駅下車4番出口
  - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線(東京メトロ) 大手町駅下車 C2b出口
- お車でのアクセス  
首都高速道路: 神田橋インターチェンジをご利用ください



## 名古屋会場

ミッドランドホール  
名古屋市中村区名駅4-7-1  
ミッドランドスクエア オフィスタワー5F  
TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
  - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
  - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス  
名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
- 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



## 大阪会場

ヒルトン大阪 春日の間(10階)  
大阪市北区梅田1-8-8  
TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
  - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線(JR) 大阪駅下車徒歩2分
  - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
  - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
  - ◎24時間営業
  - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

### お申し込み方法

### こちらからお申し込み下さい

右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

- ① <http://www.fromhc.com>  
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

4/18 (火) 東京

14:00~17:00  
(開場13:30)

会場: JAビル カンファレンスセンター 4階 401A  
東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
TEL: 03-3212-1912(代)

4/24 (月) 名古屋

14:00~17:00  
(開場13:30)

会場: ミッドランドホール  
名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F  
TEL: 052-527-8500

4/25 (火) 大阪

14:00~17:00  
(開場13:30)

会場: ヒルトン大阪 春日の間(10階)  
大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

## ご挨拶に代えて

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』より

投資のリスクは生活のリスク (2016.10.27)

資産形成の重要性に関する投資教育においては、程度の差こそあれ、投資のリスクをとることが前提になっています。つまり、投資教育は、投資のリスクのとり方の教育だといっていいのです。そもそも、リスクをとれるということは、資産形成の目標金額と実績金額との間に、多少の差があっても、深刻な問題にならないことが前提になっているのです。

それに対して、絶対的な必需性のもとにある資金を、投資のリスクに晒すことができないのは、当然です。特に、最低生活保障の原資は、投資の成果によって不足する可能性に、決して晒されてはならないのです。変動のリスクが許容されるのは、生活の豊かさの程度についてだけです。生活の必需には、リスクは許容され得ません。

数年以内に、少し豪華な旅行をしてみたいと思って、その目標のために資産形成を始めるとして、その運用内容について、いろいろと自分の頭で考えて、多少のリスクをとることは、面白く、楽しいことではないでしょうか。うまくいけば、より豪華な旅行ができる、あるいは、予定よりも、早く旅行に行ける、そうした不確実性を生活の喜びのなかにとり込むことこそ、資産形成におけるリスクをとることの本来の意味だろうと思われまます。

もちろん、リスクの制約として、旅行自体が不可能になるほどの大きなリスクをとってはいけないのですが、そうしたことも、経験によって、学習していくことではないでしょうか。仮に失敗した場合でも、所詮は、娯楽としての旅行です。無理に行く必要もないわけです。

ならば、たまたま、旅行を予定していた時期に資産価格が下落していても、そこで、資産を売却して、無理に現金化する必要もないのです。むしろ、旅行を延期して、資産形成を継続した結果として、資産価格が大きく回復して、予定よりも豪華な旅行ができるという可能性をとるべきでしょう。

リスクとは、良くも悪くも、不確実性なのです。こうしたスリリングな体験、娯楽の本質である多少の不安と期待の混淆の体験を通じて、リスクや長期的視点等の真の意味が少しずつ理解されていくのだと思われまます。投資を学ぶには、学ぶこと全てに共通ですが、学ぶ喜びと楽しさが必要なのです。

講師：森本紀行

## 講演内容

日常的な言葉で、常識的な論理で、資産運用を語ろうというのは、ひとつには、そのほうが自分自身に対して理解しやすいからですが、もうひとつには、そのほうが資産運用の専門家でない他人に対して説明しやすく、説明が受け入れられやすいからです。年金基金等の資産運用の担当者にとって、自分自身が資産運用を理解していることは重要ですが、それ以上に、全く資産運用の知識をもたない関係者(母体企業や他部門の人など)に対して、資産運用を説明し理解してもらえることが重要です。

これまで簡単に使っていた片仮名の意味を徹底的に再検討し、対応する日常的な日本語を厳選する努力をしていくことで、十分に理解できていなかった専門用語の理解が深まり、資産運用の本当の意味がみえてくるはずです。

また、投資というと、何か特別な技能によって上手にお金儲けをすることだ、というふうになってしまう人も多いでしょう。とんでもないことです。投資とは、銀行融資と同じように、金融の仕組みにすぎません。企業や政府などの資金調達必要性に対して資金供給するのが、投資の役割です。

株式といい債券といい、それを発行した企業や政府からみれば資金調達の道具であり、それを取得する投資家の立場からみれば投資対象なのです。であれば、資産運用は企業の財務行動の反対側にあるにすぎないので、その資産運用を理解できない企業人などあり得ないことがわかるでしょう。そのように、資産運用を企業経営の常識のなかに再構築してみましよう。

## 項目

- ① 「好循環」
- ② 投資の意思決定の要素
- ③ 人間的効用と経済的利益
- ④ 投資の世界の古い格言
- ⑤ 統計の誤用に陥らないための戦略的発想
- ⑥ 経営の言語による資産運用
- ⑦ 乳牛と牛乳についての古い格言
- ⑧ 投資対象の適格性
- ⑨ 資産運用の四つの原則
- ⑩ 総合収益の分解
- ⑪ 資産価格の変動ではなく資産価値の維持と増殖
- ⑫ オルタナティブの再構成
- ⑬ 極めて大きな取引費用と機会費用
- ⑭ リスク分散かリスク追加か
- ⑮ 投資機会の回転
- ⑯ 年金財政の仕組みと資産運用の目的
- ⑰ 長期的に設定された将来像に基づく中期計画の執行と短期の評価
- ⑱ 銀行が作り出す不均衡と投資の機会



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長

### 森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。